

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～5月		
科目名	日本の文化と生活	単位数	1単位	時限数	15時限
担当講師 (実務経験)	茶道裏千家鉤路支部副幹事長	講義時限	14時限	試験時間・配点	45分 100点

◆学習目標

日本の文化を学び、社会人としての生活に密着したマナーを身につける

回	授業内容	授業方法	学習課題
1	日本のしきたり 1)年中行事のしきたり 日常生活でのマナー 教本 茶道の意義 お辞儀の仕方	講義	社会でのマナー
2	日本のしきたり 2)人生の節目のしきたり 3)葬儀のしきたり・意義 教本 茶道の意義	講義	社会常識 伝統文化
3	日本のしきたり 4)お付き合いのしきたり 5)縁起のしきたり・意義 教本 茶道の意義	講義	社会常識 伝統文化
4	日常生活の中の生活動作 1)洗濯・掃除  教本 茶道の意義	講義	社会常識 伝統文化
5	現代社会とコミュニケーション 1)言葉使い・敬語  教本 茶道の意義	講義	社会常識 伝統文化
6	茶道を学ぶ 1)客の心得 茶花 お菓子などの季節感について お菓子の頂き方 お茶の頂き方	講義	社会常識
7	茶道を学ぶ 和室での礼儀作法 上座・下座 お菓子・お茶をいただく	講義 実技	礼儀作法
8	筆記試験		

◆教科書

裏千家 今日庵

◆参考文献

日本のしきたり 武 光誠 監修  
美しい日本語の話し方 山岸 弘子 監修  
掃除と洗濯の基本 後藤 美枝子 監修

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～8月		
科目名	総合医療論	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	学校長 (病院勤務経験あり) 副院長 (内科勤務) 医師 (外科勤務) 臨床心理士 (心理判定員)	講義時限	28時限	試験時間・配点	90分 100点

◆学習目標

全ての人々が健康な生活を確保するために保健・福祉との連携の中で医療・看護が果たす役割を理解する

	回	授業内容	授業方法 (担当教員)	学習課題
授 業 計 画	1	医療の歴史 (医学・看護の歴史)	講義 (学校長)	今日の医療・近代看護学が確立した過程を知る。
	2	こころの健康と精神医療	講義 (臨床心理士)	
	3	我々を取り巻く自然/社会環境と疾病構造 (高齢化社会・生活習慣病など)	講義 (学校長)	現在の日本の抱える問題と医療を考える。
	4	障害者とノーマライゼーション	講義 (医師)	
	5	癌診療と死生学	講義 (学校長)	癌の治療・終末期医療について考える。
	6	環境と健康被害、保健・福祉活動	講義 (学校長)	環境と健康の関係、行政の体制・対応を知る。
	7	看護コミュニケーション	講義 (学校長)	患者と医療従事者との意思疎通のあり方を考える
	8	医療コミュニケーション (IC、情報開示)	講義 (学校長)	患者と医療従事者との意思疎通のあり方を考える
	9	プライマリーケア、総合診療、在宅医療	講義 (学校長)	医療上の情報交換のknow-howを知る。
	10	緩和ケア	講義 (副院長)	
	11	命を考える、移植	講義 (学校長)	移植術と医の倫理を考える
	12	医学概論	講義 (学校長)	診断の基礎を学ぶ
	13	臨床講義	講義 (学校長)	乳がんの早期診断
	14	臨床講義	講義 (学校長)	甲状腺・副甲状腺疾患について
	15	試験		

◆教科書 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度① 総合医療論 (医学書院)

参考文献 基礎からステップアップ「看護コミュニケーション」高橋清美編、(へるす出版)、2014

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	2年次 9月		
科目名	哲学	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	大学准教授	講義時限	28時限	試験時間・配点	90分 100点

◆学習目標

人間の合理的な面と不合理な面を理解し、人間の行動の「理由」を理解することで他者への理解を深めると同時に、他者への偏見を軽減し、より寛容な姿勢をもって他者と接できるようになること。

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	第1回	ガイダンス「人間という面白い生き物」	身近な疑問、不思議な行動の事例を紹介	講義内容をインターネットで調べ復習する
	第2回	なぜ節約できないのか？	同上	同上
	第3回	なぜ人は辛抱できずに言い訳するのか？	同上	同上
	第4回	ダメ人間は存在するのか？	同上	同上
	第5回	なぜ人は過去にとらわれるのか？	同上	同上
	第6回	なぜ人は変わらないのか？	同上	同上
	第7回	チャレンジという「逃げ」について	同上	同上
	第8回	弱く醜い自分	同上	同上
	第9回	お金は欲しいがそれだけではない？	同上	同上
	第10回	人をやる気にさせるには？	同上	同上
	第11回	復讐は楽しい？それとも虚しい？	同上	同上
	第12回	寛容のメリット	同上	同上
	第13回	共感と冷淡さ	同上	同上
	第14回	みんなが議論すれば・・・ダメになる？	同上	同上
	第15回	これまでのまとめ（テスト）	まとめと期末試験実施	同上

◆教科書

自信過剰な私たち 自分を知るための哲学(ナカニシヤ出版)

◆参考文献

特になし

◆成績評価の方法

筆記試験

科目分類	基礎科目	開講年次・時期	2年次4月～9月		
科目名	教育学	単位数	2単位	時間数	30 時限
担当講師 (実務経験)	短期大学教授	講義時間	30 時限	試験時間・配点	90 分 100 点

◆学習目標

- 1) 「教育」とは何か、相手/他者に“伝える”“伝わる”情報について考える
- 2) 他者理解のための視野を広げる
- 3) 「学校に行くこと」をキーワードとして、現代教育で問われている諸問題への関心を広げる

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	1) 「教育学」講義の紹介 オリエンテーション	説明	
	1、2	2) 事実と認識、そして教育による普及 情報の有無による認識の違い	講義 ・ 自由記述 →	写真の見え方について
	2、3	3) 学校に行くことが当たり前になるまで ① 近代日本教育制度のはじまり	講義	
	4、5	② 就学率の推移と国家主義教育の形成		
	5、6	4) 捨てられた子どもたち ～「赤ちゃんポスト」とイタリアの養育院の事例～	講義	
	7	5) 「教育観」と「人間形成」の考え方 ①個人をどうみるか ロック、ルソー、フレーベル	講義 ・ 自由記述 →	子ども観と教育方法への 意見
	8	②社会との関係 デュルケイム、クリーク ディルタイ、シュプランガー、デューイ		
	9	6) 「教える」考～受け手の決断、伝え手の責任～ O.F.ボルノーと吉田章宏の立論比較	講義 ・ 自由記述 →	各自にとって「教える」と は何か
	10、11	7) 学校に行くことが当たり前になったために問題 となったこと ①不登校～現状と対策の課題	講義	幾つかの提言への意見
	12、13	②いじめ～現状分析からの提言	・ 自由記述 →	
13	8) 保育場面の観察から 事実とその解釈、保育「記録」の意味	講義		
14、15	9) 学校に行くことが当たり前とされなかった子ども たち～インテグレーションからインクルージョンまで	講義		

◆教科書

使用せず、必要時に講義資料を配付する

◆参考文献

沼田裕之・増淵幸夫、『＜問い＞としての教育学』、福村出版、1997年  
 教育史研究会編、『教育勅語の何が問題か』、岩波ブックレット 974、2017年  
 前之園幸一郎、「フィレンツェにおけるインノチェンティ捨て子養育院の創設とその発展について」、『青山学院女子短期大学紀要』49 輯、1995年12月等  
 正高信男、『いじめを許す心理』、岩波書店、1998年  
 土井隆義、『友だち地獄～「空気を読む」世代のサバイバル』、ちくま書房 710、2008年  
 吉田重子、『点字からはじまるメッセージ』、北海道新聞社出版局、2009年 ほか、各講義資料に示す

◆成績評価の方法 レポート試験（授業時に実施する自由記述内容を勧奨する）

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 6月～10月		
科目名	心理学	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	臨床心理士 (臨床実務経験あり)	講義時限	28時限	試験時間・配点	90分100点

◆学習目標

基礎的な心理学の理論を学び、人間理解に役立てる。看護場面にみられがちな患者心理についての知識を深める。

	回	授業内容	授業方法
授 業 計 画	1	1. オリエンテーション 心理学とは何かについて学習、心理学の研究手法、日常生活の心理学	全て講義
	2	2. 発達 定型発達について理解する、遺伝と環境、発達の变化	
	3	3. 学習 人とはどのように学習するか理解する、条件付け、技能学習、社会的学習	
	4	4. 認知 ・記憶と忘却の過程について理解する、記憶の種類、忘却について、記憶の障害	
	5	・どのように外界をとらえるか、視知覚と錯視	
	6	・聴知覚、触覚	
	7	・思考とコミュニケーションについて学習、問題解決と推論、コミュニケーション方法	
	8	・言語の習得や理解について認知障害、言語習得と理解、脳損傷と高次脳機能の障害	
	9	5. 動機づけ・情動 ・人はどのように動機づけられ、情動の起こる仕組みについて学ぶ、食と性の動機付け、基本的情動、生理心理学から見た情動	
	10	・社会的動機付けと不快な情動について、親和動機付け、活動と探索の動機付け、達成と自己実現の動機付け、フラストレーションとコンフリクト(葛藤)	
	11	6. 個人差 ・知能とはどのようなものか学習、知能の測定、知能の因子、知能発達の要因-遺伝対環境	
	12	・性格とはどのようなものか学習、パーソナリティ発達の要因、パーソナリティの不応・障害	
	13	7. 社会心理学 ・人と社会の結びつきと影響について学習、社会行動の発達、社会的認知、態度と説得、社会的影響	
	14	・人と社会の結びつきと影響について学習、対人魅力と対人関係、集団の中の個人、社会脳	
	15	8. 試験	

◆教科書

心理学 第5版 鹿取廣人 編、杉本敏夫 編、鳥居修晃 編 東京大学出版会

◆参考文献

必要に応じて資料を配布

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～7月		
科目名	人間関係論	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	大学院教授 臨床心理士	講義時限	28時限	試験時間・配点	90分 100点

◆学習目標

人間及び人間関係のあり方とその過程を理解し、人間関係における援助的役割を果たす素地を養う。

	回	授業内容	授業方法
	授 業 計 画	1	人間関係基礎論Ⅰ
2		人間関係基礎論Ⅱ	
3		人間関係基礎論Ⅲ	
4		ストレスマネジメントⅠ	
5		ストレスマネジメントⅡ	
6		ストレスマネジメントⅢ	
7		レジリエンス	
8		エゴグラム	
9		自律訓練法	
10		アサーション	
11		カウンセリングの基本	
12		SGE	
13		TST	
14		SST	
15		試験	

◆教科書

毎回講義資料を配布

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～7月		
科目名	社会学	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	大学講師	講義時限	28時限	試験時間・配点	90分100点

◆学習目標

社会学の基本的な考え方について理解し、社会的な思考を身に着けることによってより広い視野で医療現場をとらえられるようになる。

	回	授業内容	授業方法
授 業 計 画	1	社会学とはどんな学問か	講義
	2	食の社会学①	
	3	食の社会学②	
	4	食の社会学③	
	5	食の社会学④	
	6	ジェンダーの社会学①	
	7	ジェンダーの社会学②	
	8	ジェンダーの社会学③	
	9	ジェンダーの社会学④	
	10	ナショナリズムの社会学①	
	11	ナショナリズムの社会学②	
	12	ナショナリズムの社会学③	
	13	ナショナリズムの社会学④	
	14	医療の社会学	
	15	試験	

◆教科書

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	基礎分野	開講年次・時期	1年次 10月～2月		
科目名	英語	単位数	1単位	時間数	30 時限
担当講師 (実務経験)	短期大学専任講師	講義時限	28 時限	試験時間・配点	90 分 100 点

◆学習目標

生命や健康に関する平易な英文を読み読解力を伸ばす。  
実際の医療現場で交わされる英語の表現に習熟する。

	回	授業内容	授業方法	学習課題	
授 業 計 画	1	オリエンテーション Unit 1 The Beauty of Seasons(四季の描写、日本とアメリカ) Part1: Vocabulary Check & Reading	プリント シラバス 授業、評価について 自己紹介	毎時、単語予習の 他、授業終了時に課 題を与える。開始時 に課題の点検	
	2	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz	単語調べなどの予習確認 語彙の確認と練習 本文の内容確認 演習問題・音読練習 次時予告と課題		
	3	Unit5 Liquid Candy(甘い飲み物) Part1: Vocabulary Check & Reading			
	4	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	5	Unit11 Secondhand Smoke(間接喫煙) Part1: Vocabulary Check & Reading			
	6	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	7	Unit12 Plastic surgery(整形) Part1: Vocabulary Check & Reading			毎時 PC 利用 パワーポイント 学生は辞書 (紙、電子、タブレットすべて可)
	8	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	9	Unit16 Fast Food and Health(ファーストフードと健康) Part1: Vocabulary Check & Reading			
	10	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	11	Unit17 Artificial Insemination(人工授精) Part1: Vocabulary Check & Reading			
	12	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	13	Unit22 Gene Therapy(遺伝子組み換え) Part1: Vocabulary Check & Reading			
	14	Part2: Translation & Exercises Part3: Unit Quiz			
	15	試験			

◆教科書

Life Topics(何雲堂)

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験 予習 授業に取り組む姿勢



科目分類	基礎分野	開講年次・時期	2年次 10月		
科目名	家族関係論	単位数	1単位	時間数	15時限
担当講師 (実務経験)	大学准教授 臨床発達心理士	講義時限	14時限	試験時間・配点	45分 100点

◆学習目標

家族が多様化し、家族を取り巻く問題も複雑さを増している現代家族をめぐるさまざまな問題や人間関係について、社会・心理学的立場から理解を深める。専門職として家族を支えるために何が必要か、個々人が自分で考えることができる力を養うことが目標となる。

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	家族とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を使用する</li> <li>・講義を基本とするが、一部演習を取り入れる</li> </ul>	<p>①現代社会における家族が抱える諸問題について社会的な見地から捉えることが出来る。</p> <p>②自ら経験する現実の家族、様々な家族の現実について、社会的に相対化し、家族や家族関係について理解を深める。</p> <p>③家族への援助を考える上で大切なコミュニケーションや関係について考えることができる。</p>
	2	夫婦関係論		
	3	親子関係論		
	4	家族社会論		
	5	家族支援のアプローチ(1)－家族システム論		
	6	家族支援のアプローチ(2)－家族発達論		
	7	家族、保護者とのコミュニケーション		
	8	試験		

◆教科書

系統看護学講座 別巻 家族看護学 (医学書院)

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験